

外国を走る鉄道づくりに、商社が関わることもあるってホント？

JFTC
一般社団法人
日本貿易会
https://www.jftc.or.jp/

商社の仕事は貿易だけではなく、いろんな得意技を持つ企業と協力し、それを海外に広める仕事もしています。商社ビジネスについて、日本貿易会に聞きました。

A ホント。海外で鉄道を走らせて、交通渋滞を減らすお手伝いをすることもあるんだ。

ある国で、交通渋滞が社会問題化しているようです。商社はどんなかたちで問題を解決するのでしょうか。商社の働きぶりを、見てみましょう。

問題発生



商社パーソンが教えます！

人口が大都市に集中した国々では、増えた自動車の量に交通の仕組みが追いつかなくて、交通渋滞がひどくなるなど、排ガスのせいで空気が悪くなっている地域もあるんだ。

えっ、それは大変！ 何とかできないの？

解決の提案



だったら、鉄道をつくったらどうかな？
電車があれば、自動車の量は減らせるよ？

そうだね、だけど鉄道は作るのも大変だし、作った後の運行やメンテナンスもすごく大変。そこで日本の鉄道の良さが注目されるんだ。日本の商社はたくさんの経験と信頼をフルに使って、いろんな企業とチームになって「人」をまとめる提案をするよ。

なるほど！ 日本の鉄道の良さっていったら…

さまざまな企業との連携



それは安全と時間に正確なこと！ でもこれは鉄道を走る建設会社やメーカーだけでなく、駅や指令室、整備工場で運行を支える「人」の力がなんだよ。

そうか、商社が建設会社やメーカー、鉄道会社と協力して、現地の鉄道で働く人を育てるお手伝いをするんだね。

商社の役割



線路を敷くのは建設会社、電車をつくるのは車両メーカー、運行システムを整えるのは信号メーカー、そして列車を運行するのは鉄道会社。それぞれの得意技を組み合わせて、安全・安心な電車を走らせるんだね。

そうした会社をつないでひとつのチームにするのが商社の役割なんだね。ビジネスを通して社会貢献をするって、こういうことなんだ！

企業と企業をつないで 大きな仕事ができるのが商社ビジネスの醍醐味です

答えてくれた人 日本貿易会 広報・CSR グループ 野田知里さん

商社はこれまでも世界各地でいろんなビジネスを行ってきました。そのビジネスで築いてきた繋がりや信頼を生かして、さまざまな企業とタッグを組めるのも、商社の強みです。ここで紹介したのは交通インフラプロジェクトですが、どんなに立派な鉄道ができて、線路が敷かれても、それを動かす「人」がいなければ、列車を安全に運行し続けることはできません。だから商社はそれを得意とする企業とチームを組んで、列車の運行を支えたり、列車のメンテナンスをしたりする「人」の育成にも力を入れています。いろんな企業と協力し、それぞれの得意分野を持ち合うことで、そこに暮らす人々の豊かさにつながるビジネスができます。商社はビジネスを通して社会問題の解決も担っているのです。



売る人も、
買う人も、社会的にも、
みんな幸せになるために、
商社は働いています。